平成１８年度　第２回若穂公民館運営審議会　会議録

１　日　　時　　平成 19 年 3 月 27 日㈫　午前１0 時から

２　場　　所　　若穂公民館　１階　教室

３　出 席 者　　運営審議会委員　７名　(欠席２名)
　　事　　務　　局　２名

４　協議事項

(1)　平成 18 年度若穂公民館事業の報告について

(2)　平成 19 年度若穂公民館事業の概要について

(3)　その他

①　若穂公民館分館長・分館主事及び体育指導委員の内申について（報告）

②　若穂地区の地域公民館建設事業補助金対象工事の実施結果について（報告）

③　若穂市民運動会の開催日変更について

④　コピー料金の徴収について

⑤　成人学校受講料の変更について

⑥　館報「わかほ」200 号記念誌の発行計画について

５　意　見　等

(ア) 平成 18 年度若穂公民館事業の報告について

○ 川田分館で実施した「子ども料理教室」では、料理講習だけでなく、食事のマナーや箸の使い方の指導もしたのは、大変すばらしい。近頃の子どもは、親からこうしたしつけを受けていない。これからもこうした事業を推進してほしい。

○ 地公連が実施した「若穂子ども事業」において、「子どもわくわく体験事業補助金」が交付された事業とそうでないものがあると説明されたが、その違いはなにか。

※「子ども体験活動等活性化補助金事業」と違い、スポーツや地域のお祭りに参加などの内容は、補助対象から外されたことを説明、了解を得る。

(イ) 平成 19 年度若穂公民館事業の概要について

○ 女性学級などで、男女共同参画についての講座を開いてほしい。男女共同参画委員の内山二郎さんのワークショップに参加したが、たいへん面白かった。

講演を聞くだけでなく、自ら参加する講座を開き、少しずつでも若穂地区の女性の意識を変えて欲しい。

○ 高齢者向け講座の「人生教室」のなかに、人権教育的な内容も盛り込んで欲しい。

※ 18 年度実施した講座の講師に、人権同和教育指導主事を務められた方がいて、人権的な内容も含まれていたことを説明した。

○ 子育て支援事業で、「あひるっこ」の活動を公民館が支援しているのは、民生児童委員としても大変ありがたい。

(ウ) その他

○ 公民館は、皆が参加できる生涯学習の場であるべきではないか。その点からいうと、一般のカルチャーセンターより安いからといって、成人学校の受講料を値上げするのはいかがなものか。また、就学前の子どもを対象とした事業を進めることも、公民館のこれからの必要な活動ではないか。